

話題提供兼ディスカッション・コーディネータのご紹介

熊谷 和哉（くまがい かずや）氏

厚生労働省／健康局水道課／水道計画指導室長

厚生省（現、厚生労働省）入省。水道環境部産業廃棄物対策室、同浄化槽対策室、大臣官房国際課国際協力室等を経て、1999年、水道環境部浄化槽対策室室長補佐（2001年、省庁改編にて環境省廃棄物・リサイクル対策部浄化槽対策室室長補佐）。2003年、厚生労働省健康局水道課課長補佐。水道行政に携わるとともに、当時より海外の水道民営化状況を踏まえた国内の水道事業の方向性について提言。

その後、環境省水環境部において環境基準の見直し検討、(独)水資源機構において水資源開発に係る事業評価等を手がける。

2009年7月より厚生労働省健康局水道局課に戻り、本年7月、同課水道計画指導室長。

★趣味はダイエット！（人生の大半をダイエットに費やす。）

それと、子育てがてらの水泳とスキー。

パネリストのご紹介

(五十音順)

川名 薫（かわな かおる）氏

横浜市／水道局／事業推進担当部長

東京都労働局（現、産業労働局）入庁。その後、横浜市に入庁し、区役所、老人福祉業務に従事。1992年、水道局労務課研修係長。経営企画、計画、総務、営業所、人材開発等に取り組む。以後、海外研修受け入れにも携わる。2003年3月、ベトナムのホーチミン市に料金徴収分野の専門家として派遣。

昨年の同局経営企画担当部長就任後は、横浜水道の培った高い技術やノウハウを活用し新たなビジネス展開施策の検討業務に従事。本年、事業推進担当部長。7月、横浜市水道局100%出資会社「横浜ウォーター(株)」を立ち上げる。

★高校時代は、現在ようやく市民権を得た感のある、フェンシング部に所属。

今はジョギングにはまっている。

北原 久裕（きたはら ひさひろ）氏

株式会社ジャパンウォーター／代表取締役社長

三菱商事入社。国内建設機械販売、海外(中南米、他)建設機械輸出ビジネスに従事。クアラルンプール支店駐在、インフラ、環境関連プロジェクトを手掛ける。

帰国後、温暖化ガス削減クリーンディベロップメントメカニズム(CDM)プロジェクトを開発・形成。

2006年三菱商事(中国)商業有限公司へ赴任、CDMプロジェクトを着手、実施。

2008年ジャパンウォーターにて水事業開発に従事、翌年、代表取締役就任。

★週末はスイミングで体力作り。仕事もオフも“水”尽くめ。

高橋 千里（たかはし せんり）氏

合同会社スマートウォーター／代表社員

石川島播磨重工業（株）（現、IHI）に入社後、原子力事業部にてEPC、技術開発、リスク評価、輸出営業などに従事。日本原子力研究所（現、（独）原子力研究開発機構）に出向し実証試験施設のオペレーション管理・改造等を経験。

2003年8月ヴェオリア・ウォーター・ジャパン（株）に入社。広島市の下水道包括（2006年4月～2009年3月）の受託に伴い中国営業所を開設し、同所長。2009年6月退社。

人口減少・高齢化社会を迎えるなか、中小規模水道事業を持続可能とする「スマート・ウォーター・プロジェクト」を提案。この推進組織として、有志らと2010年6月に（合）スマートウォーターを設立した。<http://www.smart-water.info/>

★趣味はサッカーと引越し。2、3年ごとに転居を繰り返す。

山家 勝裕（やんべ かつひろ）氏

メタウォーター株式会社／国際事業推進センター技術部機械グループ／担当課長

日本ガイシ（株）に入社。環境装置事業部（改名後はエンジニアリング事業本部）開発部に配属。その後、欧州駐在としてドイツに赴任し、調査兼技術営業に従事。

（株）NGK水環境システムを経て、2008年の富士電機水環境システムズ（株）との合併に伴い発足したメタウォーター（株）に転籍。

過去、廃棄物の熱操作技術の研究、欧州を中心とした上下水市場調査、水処理装置の海外販売、新規事業開発などに従事。

★学生時代はラグビー部に所属。現在の趣味はスポーツ観戦。